

# 平成31年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人地球年代学ネットワーク

## 1 事業の成果

平成31年度は定款にある5事業のうち「国際交流と協力の推進事業」を除く4つの事業を実施した。「若手研究者の育成と雇用創出事業」として、秋田大学国際資源学研究所から委託された年代測定手法の技術指導を同研究科に在籍する留学生に行った。「測定手法と装置の研究開発事業」は地球史研究所（赤磐市）において、古地磁気・大気ガス・年代測定等の先端研究を実施し、研究集会を共催した。「調査・分析データの提供事業」は、吉井川流域地質資源活用推進協議会から吉井川流域のジオサイト見学ツアーの企画と案内を受注し、シモデン観光バスと共催した。ジオサイトの見学ツアーについてはこの他に岡電バスでも催行され、そのガイド役を請け負った。さらに、赤磐市から学校向けの教育教材となることを想定した地質資源解説動画制作業務を請け負い、環太平洋大学メディアサークルと共に準備・撮影・編集した。「知見及び技術的有用性の普及啓発事業」では、市民向けの地質講演会・巡検・科学体験フェスタ、赤磐市内の小中学校対象の出前授業、高等学校地学教員向けセミナー等を毎月1回以上の頻度で実施した。普及啓発活動の一部は、岡山県備前県民局のR01年度公募型協働提案事業（地域づくり事業）に採択され、助成金の提供を受けた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
若手研究者の育成と雇用創出事業	技術講習会及び研修の実施、受託研究等の分担、関連研究機関への派遣及び出向。	R01年6月	本事務局、地球史研究所、岡山理科大学	理事2名	秋田大学国際資源学研究所	426
測定手法と装置の研究開発事業	地球惑星科学分野（古地磁気・大気ガス・年代測定）の先端研究。	H31年4月～R02年3月	地球史研究所	理事4名及び正会員4名	会員、共同研究者・技術者多数	57
調査・分析データの提供事業	地域地質調査及び試料調整等の受託研究。教育教材の製作。	H31年8月～R02年3月	事務局、環太平洋大学、赤磐市内	理事2名及び正会員2名	赤磐市立小中学校生徒、住民多数	2,027
国際交流と協力の推進事業	国際会議の開催、研究者の相互受け入れ、共同研究の推進	実施なし				0
知見及び技術的有用性の普及啓発事業	webの管理運営。学校教育支援、地域地質巡検及び講演会の開催。備前県民局協働提案事業。	H31年4月～R02年3月	赤磐市、岡山市、岡山県東部地域、地球史研究所	理事4名及び正会員11名	岡山県東部住民約1000人	1,941

平成31年度 活動計算書  
 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで  
 特定非営利活動法人 地球年代学ネットワーク  
 (単位：円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費		504,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金		69,000
3. 受取助成金等		
受取補助金		813,957
4. 事業収益		
若手研究者の育成と雇用創出事業収益	400,000	
調査分析データの提供事業収益	1,593,181	
知見及び技術的有用性の普及啓発事業収益	122,100	2,115,281
5. その他収益		
受取利息	35	
受取配当金	300	335
経常収益計		3,502,573
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当		
人件費計	0	
(2) その他経費		
委託費	606,390	
諸謝金	455,221	
旅費交通費	636,980	
燃料費	12,632	
通信費	105,218	
消耗品費	1,277,236	
水道光熱費	773,679	
リース料	274,572	
会場費	105,800	
減価償却費	38,423	
保険料	19,060	
諸会費	9,500	
租税公課	1,200	
広告宣伝費	100,000	
支払手数料	8,184	
保証料	2,750	
支払利息	25,096	
その他経費計	4,451,941	
事業費計		4,451,941
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬		
人件費計	0	
(2) その他経費		
支払手数料	84,500	
その他経費計	84,500	
管理費計		84,500
経常費用計		4,536,441
当期経常増減額		△ 1,033,868
税引前当期正味財産増減額		△ 1,033,868
法人税、住民税及び事業税		71,064
当期正味財産増減額		△ 1,104,932
前期繰越正味財産額		3,445,947
次期繰越正味財産額		2,341,015

# 監査報告書

令和2年6月6日

特定非営利活動法人地球年代学ネットワーク

理事長 板谷 徹丸 殿

監事 本庄 慶樹 印

特定非営利活動法人地球年代学ネットワークの定款 16 条 5 項の規定に基づき、第 6 期（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における監事監査を実施したところ、次の通りであったので報告いたします。

## 記

1. 実施日時 令和2年6月6日（土）
2. 実施場所 事務局（岡山市中区中島2番地5）
3. 立会人 竹下 浩征（地球年代学ネットワーク 理事）
4. 関係書類 決算書、総勘定元帳、預金通帳、領収証等
5. 監査結果

監査事項	意見
理事の業務執行状況	適当である
法人の財産状況	適当である
法人の会計処理	適当である
総括	適当である

以上

# 第7期（2020年度）事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人地球年代学ネットワーク

## 1 実施事業の方針

令和2年度は、これまで通り地球史研究所の整備を進めながら、定款に記された5つの事業に取り組みます。「若手研究者の育成と雇用創出事業」では、地球科学系大学院生及び若手技術者を対象としたセミナー（研究集会）を開催します。「測定手法と装置の研究開発事業」は、地球史研究所での先端研究を継続・発展させます。官公署、大学及び地質系企業を対象とした「調査・分析データの提供事業」も引き続き実施します。昨年度は実施できなかった「国際交流と協力の推進事業」についても復活させます。「知見及び技術的有用性の普及啓発事業」については、赤磐市との連携を土台として、吉井川流域の市町村及び民間企業との協働事業を進めて行きます。大学院大学構想及び吉井川流域ジオパーク構想実現のための人材・予算・技術等の確保と事業の実績を積み上げていきます。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
若手研究者の育成と雇用創出事業	技術講習会及び研修の実施。受託研究等の分担。関連研究機関への派遣及び出向。	随時	登録された全国の大学及び企業の研究室	理事及び正会員数名	地球科学系大学院生、若手技術者(多数)	200
測定手法と装置の研究開発事業	地球惑星科学分野（古地磁気・大気ガス・年代測定）の先端研究。	通年	地球史研究所	理事及び正会員多数	官公署、大学、地質系企業(多数)	200
調査・分析データの提供事業	地域地質調査及び試料調整等の受託研究。教育教材の製作。	随時	事務局、地球史研究所	理事及び正会員多数	官公署、大学、地質系企業(多数)	1,500
国際交流と協力の推進事業	国際会議の開催。研究者の相互受け入れ。共同研究の推進。	随時	国内外の大学、学会及び事務局	理事及び正会員多数	国内外の地球科学系研究者・技術者(多数)	200
知見及び技術的有用性の普及啓発事業	webの管理運営。学校教育支援、地域地質巡検及び講演会の開催。備前県民局協働提案事業。	通年	赤磐市、岡山市、吉井川流域市町、地球史研究所	理事及び正会員多数	地域の小中高校大学及び一般市民(多数)	900

2020年度 jGnet（岡山）活動予定

名 前	人材育成	研究開発	収益事業	国際交流	普及啓発	助成金申請	その他
板谷徹丸	大学院大学構想 実現のための活 動	論文執筆（アルプ スドラマイラ岩体 過剰アルゴン波、 理大時代の学生院 生未公表データ）	皆様のお手伝い程 度とします		皆様のお手伝い程 度とします	科研費 民間財団助成	jGnet 第二活動拠点の模索 鈴木和博コーナーの整備
乙藤洋一郎	城南小学校 6 年 生との地学エク スカーション 舞鶴帯を研究す る人の研究拠点	論文執筆（蛇紋岩 化はいつか、18 億 年前の地球など、 MMCO） 吉備高原の隆起量 ・西南日本弧の 6 0Ma の volcanic front			岡山県総合教育セ ンター研究講座 桜が丘地区老人ク ラブ文化講演会 地球史研究所サロ ン	2020年度 マツダ事業助 成(科学技術振 興関係)	
先山 徹		所有岩石試料のデ ータベース化 歴史的石造物（灯 籠、狛犬、石塔、 墓石など）の石材 産地同定			ジオキャラバンの 実施	科研費？	私立大学非常勤（週 2 回）、兵 庫県文化財保護審議会の会議 と調査、人と自然の博物館での セミナー（8回）他 新見市天然記念物「羅生門」の 保護活用委員会委員の仕事（新 見ジオパーク構想？）
横山義人	城南小学校児童 と地球科学交流	勝田層群の地質 夜久野岩類の研究 那岐山の地質			奈義町・美作市の生 涯学習		私立大学非常勤(週 2 回)、 県立高校非常勤(週 1 回)、

2020年度 jGnet（岡山）活動予定

名 前	人材育成	研究開発	収益事業	国際交流	普及啓発	助成金申請	その他
竹下浩征		是里周辺の地質調査	赤磐市ジオ動画制作 吉井川流域地質資源活用推進協議会 岡電観光バスのジオツアー		うをうをの絵本制作 是里でジオを加えた体験型ツアー準備活動		鴨前の今井さんの桃畑で袋掛け（6月） 地球史研究所ジオトピア整備（通年） 是里で成田さんと住民の皆さんと畑仕事
本庄慶樹			赤磐市ジオ動画制作				ホームページ更新・管理
八木公史			理大・今山研より K-Ar 年代測定依頼の可能性あり		ジオフェスタ実施の検討（表町より打診あり）		地球史研究所ジオトピア整備（できる限り）
井上善夫			ジオツアー補助		地球史研究所サロン補助ほか		地球史研究所ジオトピア整備（バラ園, 果樹園, 柿の木など）
郷津知太郎							
曾根原崇文					ジオフェスタ（表町？）コンテンツ開拓（火山風化実験, レプリカ種類増, 堆積実験）		地球史研究所ジオトピア整備（できる限り）
藤原 誠							農地整備（研究所棟北側） 図書室整備（鈴木和博コーナーほか）
後藤隆嗣							ビニールハウスの活用（研究所棟北側）

## 前事業年度の年間役員名簿

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

特定非営利活動法人地球年代学ネットワーク

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	板谷 徹丸	岡山県岡山市北区富原2818番地28	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	報酬なし
2	理事	乙藤 洋一郎	岡山県赤磐市周匝442番地1 グリーンベルA-201	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	報酬なし
3	同	竹下 浩征	岡山県岡山市中区赤田153番地13	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	報酬なし
4	同	八木 公史	岡山県岡山市東区城東台東一丁目15番13号	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	報酬なし
5	監事	本庄 慶樹	大阪府羽曳野市はびきの4丁目5番10号	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	報酬なし

### 【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。

## jGnet 会員リスト(2020/06/19現在)

第7回社員総会(6/19)

番号	氏名	所属	第7回社員総会(6/19)		
			総会	懇親会	会費未納状況
1	板谷 徹丸	蒜山地質年代学研究所	○	○	
2	乙藤 洋一郎	地球史研究所/神戸大学	○	○	
3	竹下 浩征	蒜山地質年代学研究所	○	○	
4	本庄 慶樹	環太平洋大学/デイジー	○	○	
5	八木 公史	蒜山地質年代学研究所	○	○	
6	蜷川 清隆	地球史研究所/岡山理科大学	○	○	
7	郷津 知太郎	蒜山地質年代学研究所	○	○	
8	藤原 誠	蒜山地質年代学研究所	○	○	
9	井上 善夫	蒜山地質年代学研究所	○	○	
10	曾根原 崇文	蒜山地質年代学研究所	○	○	
11	後藤 隆嗣	蒜山地質年代学研究所	○	○	
12	野瀬 重人	jGnet研究開発支援室	○	×	
13	横山 義人	地球史研究所	△	×	
14	鈴木 茂之	岡山大学	△	×	
15	藤野光裕	姫路市教育委員会	△	×	
16	苗村 康輔	名古屋大学博物館	△	×	
17	今岡 照喜	山口大学	△	×	
18	原山 智	信州大学	△	×	
19	渡邊 公一郎	九州大学	△	×	
20	西村 貢一	ジオサン技術士事務所	△	×	
21	下屋 久通	建設技術研究所	△	×	
22	此松 昌彦	和歌山大学	△	×	
23	本郷 高志	アルプス調査所	△	×	
24	川勝 和哉	兵庫県立西脇高等学校	△	×	
25	小山内康人	九州大学	△	×	
26	村田 守	鳴門教育大学	△	×	
27	佐伯佳美	ダイエーコンサルタンツ	△	×	
28	福井 志郎	栄水道株式会社	△	×	
29	宮下 敦	成蹊大学	△	×	
30	渡邊 正巳	文化財調査コンサルタント	△	×	
31	窪田 安打	応用地質株式会社	△	×	
32	清川 昌一	九州大学	△	×	
33	影山 直樹	名古屋大学	△	×	
34	先山 徹	地球史研究所	△	×	
35	西山 忠男	熊本大学	△	×	
36	宿輪 隆太	五島鉱業/輪創JAPAN	△	×	
37	瀧瀬 佑衣	名古屋大学	△	×	
38	三木 雅子	神戸大学	△	×	
39	三雲 弘和	吉井川流域DMO	?	?	
40	土谷 信高	岩手大学	×	×	
41	能田 成	(元)熊本大学	×	×	1年間会費未納
42	仲谷 英夫	鹿児島大学	×	×	2年間会費未納
43	安部 久美子	赤磐市内	×	×	2年間会費未納
44	Nguyen Nuong	Vietnam Oil and Gas Group	×	×	2年間会費未納
45	Ngo Xuan Thanh	Hanoi University of Mining and Geology	×	×	2年間会費未納
46	竹下 徹	北海道大学	×	×	3年間会費未納
47	Lee Hyun Koo	Chungnam National University	×	×	3年間会費未納
48	Kim Sung Won	Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources	×	×	3年間会費未納
不明	渡辺 梓	パソナ	—	—	登録後入金なし
R1	川崎 智佑	愛媛大学	—	—	退会
			38	11	

7 その他参加者

18 懇親会参加者数



# 先端地質科学大学院大学の新設

地質科学関連産業で求められる地質科学の先端的専門知識と高度な地質調査技術を併せ持つ高度な専門技術者の育成を目的とした大学院大学(専門職大学院)の赤磐市吉井地域への新設を目指す。

専門職大学院

〔 学校教育法 〕

(大学院及び専門職大学院の目的)

第九十九条 2 大学院のうち、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とするものは、専門職大学院をする。

## 大学院大学のコンセプト

### (1) 設置目的

- ・現在、地質科学関連産業は、活断層評価などを行う高度な専門技術者が求められているが、人材育成のための専門機関が無く、異常なほどの人材不足に直面している。
- ・この課題解決のため、年代測定技術や高度な地質調査技術を併せ持った先端的な高度技術者を養成する専門職大学院を設置する。

### (2) 学科構成等

- ・一研究科構成とし、先端地質科学研究科を設置
- ・地質・岩石の年代測定技術者を養成する地質年代学専攻、高度な地質調査技術者を養成する地質調査学専攻の2専攻を有する。
- ・通常の大学院の博士課程後期3年間の教育カリキュラムを想定(※通常、専門職大学院は2年間で学位は修士)

### (3) 対象学生

- ・地質科学関連産業に従事する地質技術者など社会人

### (4) 教員組織

- ・NPO法人地球年代学ネットワーク(jGnet)に所属する研究者(現役教授や名誉教授等)

### (5) 施設・設備

- ・旧県立備作高等学校跡地に開設した地球史研究所(※電源施設(キュービクル等)の改修が必要)

### (6) 事業主体

- ・未定(※市立、公設民営など今後検討が必要)

# 先端地質科学大学院構想（開学までの準備組織）

## (1) ワーキンググループ（1年間）

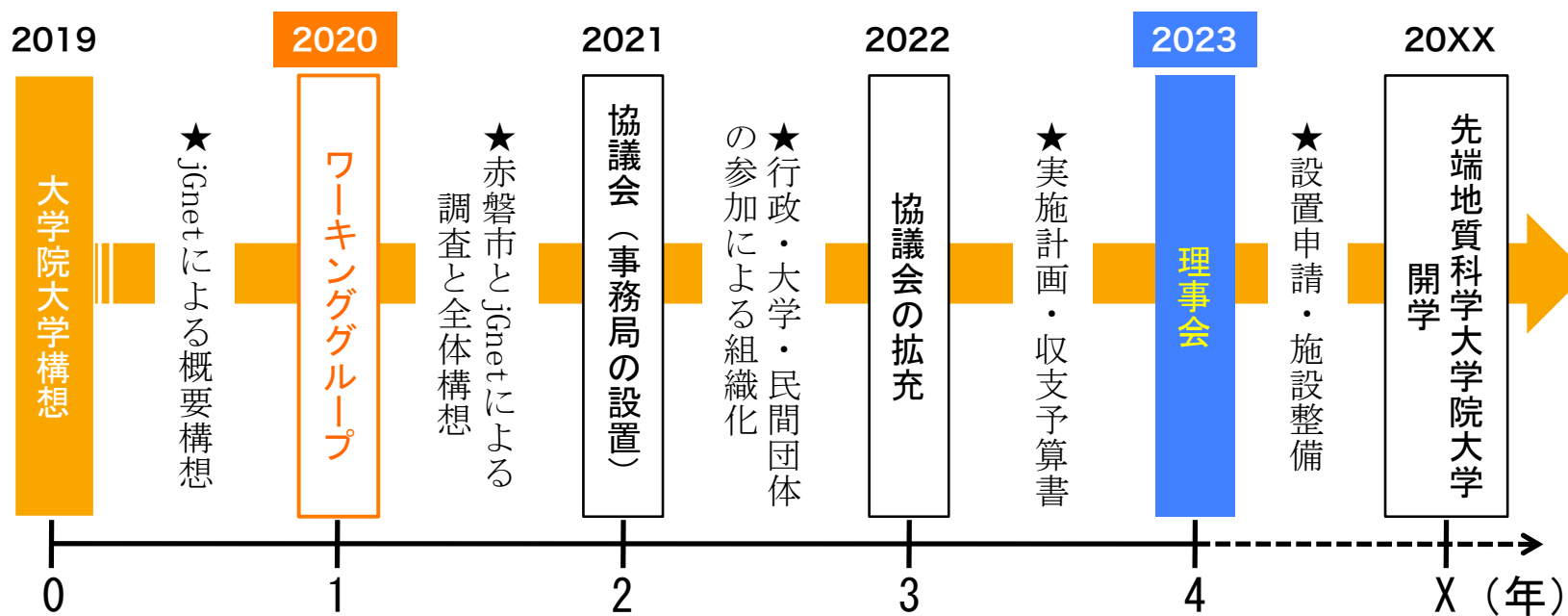
- 赤磐市とjGnetによる調査研究と全体構想の作成及び協力団体の確保

## (2) 協議会（最短3年間）

- 事務局の設置. 岡山県, 大学, 民間団体等の参加（組織化）
- 実施計画（カリキュラムの確定等）, 収支予算書, 教員・事務員の確保

## (3) 理事会

- 設置申請, 施設整備等



## 第7期（2020年度）地球史研究所の整備方針

### (1) 研究棟の整備

- ・ 3階研究室4部屋の間仕切りと空調・コンセントの新設
  - \* 整備には契約電気量の増設が必要。
  - (電気設備会社カジノンへ設計と見積りを依頼中)
- ・ 2階旧図書室の改修→ 鈴木図書コーナーを備えた展示室へ
  - \* カーペット張替え、展示棚・机・椅子の新設など
  - (Fuji地研に協力を依頼)
- ・ 1階女子トイレに温水洗浄便座1台を取り付け
  - \* 蒜山地質からのプレゼント

### (2) ジオトピア整備（協力：金谷さん・成田さん）

- ・ バラ園の公園化
  - レイズドベッドとガゼボづくり
- ・ 果樹園の外部利用の推進
  - 果樹生産者（プロ）に提供→ 試験研究・人材育成・体験の場
- ・ 菜園の整備
  - 周縁のピアとカキを管理し、実を収穫。

\* 来年度には花や果樹を収穫してジャムをつくり、計画中のクラウドファンディングの返礼品としたい。売れるものを作るのは難しいが、研究所ブランドの加工品であれば、寄付のアイテムとすることは可能。

以上